

令和元年度 事業計画書

Misola（生活介護）

1 基本方針

法人の目的であるノーマライゼーションの理念の則り、皆が助け合える地域社会の創造に寄与する為、特定非営利活動法人かとうが運営する絆みらいを、同場所において生活介護事業

「Misola」として特定非営利活動法人 Cielo が運営を開始し、利用者及びそのご家族、また職員、ボランティアその他当事業所に関わって頂いているすべての方の為に更なる向上を目指し、日々努力する。

2 施設の概要

施設の名称	Misola
所在地	兵庫県加東市下滝野748番地2
種類	生活介護
定員	10名
管理者	時井 世津子
業務内容	自立した日常生活又は社会生活を営む上で、食事や入浴、排せつ等の介護や日常生活上の支援が必要な方たちに、生活介護の場を提供することを目的とする。その中で、日常生活上の支援や、入浴、排せつ及び食事の介護、創作活動又は生産活動の機会の提供、日常生活における相談等を行う。

3 生活介護の運営方針

障害を持っていても、“自分らしく”を最大のテーマとして、本人、家族、事業所、その他の地域資源を十分に活用し、「仲間と一緒に場がほしい、自分の持てる力を発揮したい、社会と繋がり役割を果たしたい」など一人ひとりの想いや希望を大切に、ともに歩いていく。

4 目標

- ① 職員が一丸となり、達成感や自信を引き出せるよう支援を行う。
- ② 温かい心のもった関わり、介護が出来るよう努める。
- ③ 利用者が安心して通所できるよう、常に安全で明るく清潔な環境作り、職員と利用者が信頼しあえる家庭的な環境作りに努める。
- ④ 施設内での勉強会や各種研修等に参加し、知識、技術の向上に努め、自信と信頼をもちまた、統一した支援・質の高い支援が出来るよう努める。
- ⑤ 趣味やクラブ活動、レクリエーション、創作活動等を通して日中活動の充実を図り、自分のもてる力が発揮できるよう支援する。
- ⑥ 利用者一人ひとりの生活・障がいの状態をよく理解した上で、利用者本人が自己決定出来るよう利用者中心の支援をする。

5 具体的支援内容

- (1) 個別支援計画 サービス管理責任者
- (2) 支援内容 生活支援（食事、排泄、清掃等）
作業支援（創作活動、機能訓練、調理等）
余暇活動支援（地域行事参加、創作、レクリエーション等）
健康管理（日々健康チェック、定期健康診断、体力づくり等）
- (3) 行事計画 お花見、施設見学、日帰り旅行、ショッピング、クリスマス会、初詣、イチゴ狩り、季節を楽しむ行事、地域の夏祭り、避難訓練、もちつき、誕生日会等

6 職員の資質向上について

職員の資質向上を図るため、積極的に研修会に参加する。また、内部研修に関しても体系化する。資格取得に関しては、試験の為の休暇、研修費の負担などにより積極的に挑戦できる環境づくりを行う。

7 危機管理計画

- ① 防災管理について必要な事項を定め、火災、震災、その他の災害から利用者、職員、その他、施設に出入りする全ての人の身体の保護安全を確保できるよう年2回（6月・12月）に防災訓練を行う。（時期は変更する事がある）
- ② 計画的に防災設備の確認・改善等や防災教育を行う。

8 安全・事故防止計画

- ① ヒヤリハット、アクシデント報告書を提出し、分析を行い、事故の再発防止に取り組む。万が一、事故等が発生した場合は、事故対応マニュアルに沿って迅速に対応する。
- ② 家族からの要望や苦情などの声をもとに施設全体でサービスの向上に努める。

9 サービス評価の実施及び苦情処理の充実

- ① 月1回の定例会を設け、利用者・職員等でサービスの内容及び苦情処理について話し合い検討しあう。

10 身体拘束廃止への取り組み

- ① 身体拘束廃止委員会との連携を図り、障害者虐待防止法の勉強会を実施し、身体拘束ゼロを目指す。
- ② 身体拘束委員会を中心に、利用者の自立に向けた生活の支援、QOLの向上、利用者主体の観点から「拘束しないケア」を目指し、その人らしく生活できるよう支援する。

11 個人情報保護への取り組み

- ① 個人情報は、「個人情報保護法」の趣旨をふまえて、保護・共有していく。

- ② 利用目的については、契約書等に記載すると共に、説明し、同意を得る。
- ③ 個人情報の利用目的に関して文書を施設内に掲示し、明確にする。

12 地域との交流

- ① 地域の小学校、介護事業所等との交流を行う。
- ② 地域の行事に参加する。(加東市ふれあいパラリンピックその他)

13 一日のスケジュール

- 8:30 事業所開所
- 9:30 サービス開始 準備等
- 10:00 朝礼 ラジオ体操
- 10:15 散歩、創作活動（事業所周辺には中学校等があり安全なルートにてリラックスしながら散歩を楽しむ。体力作りにも寄与するようスタッフが配慮する。創作活動として、さをり織りや絵画、粘土細工など飽きの来ないバリエーションを取り揃える。午前はおっぱら生活を楽しむ為の時間とする。
- 12:00 昼休み（昼食）
- 13:00 作業（ここの状況に合わせて適宜休憩）
作業内容は、数珠の穴通し、箱折等の内職。自身のやる気、能力に応じて、生活支援員がサポートしながら行っていく。
- 14:45 清掃・帰る準備
- 15:00 終礼
- 15:30 サービス終了
- 17:30 事業所閉所

14 週間スケジュール

曜日	午前	午後
月	散歩・創作活動	室内作業
火	散歩・創作活動	室内作業
水	散歩・創作活動	室内作業
木	散歩・創作活動	室内作業
金	散歩・創作活動	室内作業

行事は毎月のスケジュールにて決定し、事業所カレンダーを配布する。

15 年間行事

4月	お花見	10月	日帰り旅行
5月	施設見学、避難訓練	11月	誕生日会等
6月	誕生日会等	12月	クリスマス会、避難訓練
7月	誕生日会等	1月	初詣

8月	地域の夏祭り	2月	イチゴ狩り
9月	季節を楽しむ行事	3月	ショッピング

16 資金計画

別紙収支試算表のとおり。